

# 長浜港内港埋立事業に係る 市政懇談会で出された意見 および大洲市の回答

市政懇談会：自治会と市の懇談の場として各自治会ごとに定期的を開催しています。市の主要施策の説明を行うほか、自治会から提案の地域課題などについて話し合う会議です。

## 市政懇談会で出された意見および意見に対する市の回答（抜粋）

Q 1. 長浜地区に多額の予算を投入して効果があるのかという市議がいる。埋立てをし、護岸で締めきれば、南海トラフ地震の津波が起こった際にも住民が避難できるということを市議会に説明いただきたい。

A 1. 海沿いの計画であるため、津波のことが一番心配される。南海トラフ地震の津波の高さが3.8メートル、埋立地の高さが3.5メートルということで若干不足しているが、その件は今後も引き続き検討して行きたい。また、通常の地震であれば十分対応できると考えている。

Q 2. 概算事業費はいつ算定されたのか。現在、建設費が高騰しており、今後も上がり続けていくと思われる。今後、修正はされるのか。最終的に10年後もこの概算事業費で済むという判断なのか。

A 2. 概算事業費は、基本計画を策定した令和5年度に計算したものである。建設物価等、人件費も高騰しており、今後、この事業費で収まるかどうか、現在具体的な説明は難しい。今後、必要な施設として積算した上で増額となれば議会にも説明をしてご理解を得るよう努力したい。

Q 3. 国道378号の改築を早期にやっていただきたい。パブリックコメントでも人口が減る中でこの計画が果たして成就できるのかという思いはある。長浜地域も山間部は限界集落で若い人は山から下りてきている。長浜は、大洲市街、伊予市、八幡浜に30分で、松山でも1時間あれば移動できる環境なので、若者が住める宅地を造成するのが一番いいのではないか。（意見のみ）

Q 4. 旧長浜町時代からの懸案であった埋立事業が今回執行に至った経緯、予算額、完成予定時期、ならびに完成後の費用対効果はどのように見込んでいるのか。

完成時点で農業者や漁業者の減少が懸念される中、地元産品をどのように確保し、産直市としての機能を維持する考えか。

また、近隣の類似施設との差別化や集客戦略、埋立施設全体のコンセプトはどのように整理しているのか。さらに、道の駅の健全な運営と経済効果向上のための運営体制や地域との連携の在り方、そして他地域の成功事例のような“ここにしかない価値”をどのように創出する考えか伺いたい。

A 4. 長浜港内港埋立事業に着手した主な理由は、①県事業である小型船だまりの完成が見通せたこと、②公共残土の有料受入れにより市の財政負担を抑えられる条件が整ったことである。

総事業費は、埋立造成29.5億円、施設整備53.4億円の計約92.8億円（市・県合計）。残土受入れや国庫補助、起債の活用により、市の実質負担は計20.4億円で、18年間では年平均約1.1億円となる。

経済波及効果は、施設整備で約136億円、施設運営で約5億円を見込んでいる。

コンセプトは、道の駅を核にスポーツ・レクリエーション施設や複合公共施設を一体整備し、相互利用による相乗効果を図ること、大型車駐車場の整備により広域からの利用も想定している。また、長浜港の夕景という立地特性を生かした魅力発信も行いたいと考えている。

運営面では、道の駅を中心としたまちづくりを掲げ、住民や若者も参画する体制を検討する。産直市では、新鮮な魚介類や柑橘類、地元企業の加工品など地元産品の高付加価値化を図り、若手農家団体や高校生の活動など地域の力を生かして活性化につなげたい考えである。

Q 5. 新しい国道378号が埋立地の中央に整備され、それに繋がる県道によって埋立地が4つに分断されており、使い勝手が悪いように感じる。国道を陸側に寄せれば面積が広くとれるのではないか。

A 5. 道路の線形については、現在の2箇所の直角カーブを解消したいということで計画のような配置としており、国道378号の線形を考えたときに、埋立地の真ん中を通ることが道路線形としては一番いいのではないかと考えている。

Q 6. サッカー場について、長浜は非常に風が強いところで風でボールが流される心配があり、サッカー場を整備するのに向いていないのではと思う。

A 6. 現段階ではサッカーもできる人工芝のグラウンドとして計画している。関係する方々のご意見も伺いながらスポーツ・レクリエーション施設として整備するという位置付けにしているので、そのあたりの在り方については、いろいろご相談させていただきたいと思っている。

Q 7. 松山市のJR駅跡地や松前町でも似たようなスポーツ施設の整備を検討しているようで、客の取り合いや競合といったおそれもある。今回の事業は、令和23年度までかかるということで、その期間に資材の高騰などの要素がある場合、計画全体の見直しなどは検討されるのか。

A 7. 今回の施設整備で核となるのは道の駅、商業施設といったところになるかと思う。こういった施設で一番ポイントとなるのは、車の通行量と松山、八幡浜圏域からの近さが重要になってくる。複合的なスポーツ・レクリエーション施設という点で松山のJR跡地や松前町の施設とは広域的なスポーツ・交流機能の役割分担が図られるもの認識してる。

近場では八幡浜の「みなと」や双海町の道の駅が同じような施設で客の取り合いというよりお互いの相乗効果が生まれると捉えている。具体的にどういった整備をしていくかは施設整備の際にもう一度よく考えていく必要があると思うが、利用計画のイメージとしては現在はこういった形を計画している。

Q 8. 今年度埋立て申請をされているようであるが、これは許可が下りているのか。概算事業費はいつの時点で算定した数字か。

A 8. 現在、県に審査をさせていただいているところである。目途としては県の許可が下りるのは来年（令和8年）の6月頃ではないかを見込んでいる。

概算事業費の算定は、2年前の令和5年度に算定している。その後、物価上昇等もあり、今算定するとおそらく額が増えるのではと考えている。また、施設整備の規模等についても、実際に整備するに当たっては、詳細を決めていく必要があると思っている。

Q9. 埋立事業が行われると聞いて、やっとできるのかという思いである。高齢化でどんどん人口が減っていく中で、長浜が元気を取り戻すためにどういう風にコラボさせ、我々がどう関わっていくか、土台作りを是非やっていただきたい。（意見のみ）

Q10. この図面を見たときに、現在、旅客船「あおしま」の棧橋があるが、埋立事業が完了するまでは相当年月を要するということもあり、内港の中でそういう船舶が接岸できる場所を考えておく必要があると思う。（意見のみ）

Q11. スケジュールをみると事業完了まで十数年かかるということだが、実際に完了した頃には人口ももっと減ってしまっている。1年でも2年でも早く完了するよう努めてもらい、人口減少も今の状態をどうやって止めるか、そういう仕事をどんどんやってほしい。

A11. 埋立造成に係る期間は、NEXCO西日本や国土交通省の建設残土が発生するタイミングがあるので、期間を短縮するのは難しいと捉えている。

施設整備については、できるだけ期間を短くしたいと考えており、官民連携手法を採用することで整備期間を短くできないかなど研究している。また、財政負担の面においても毎年の負担を平準化していくため期間を多くとっているというのもある。これも民間企業との連携によって解決できないか考えていきたい。

Q12. 新しい国道378号を走れるようになるのは、施設整備等の工事が全部終わってからになるのか。

A12. 国道378号の改築は愛媛県に施工してもらうことになっている。埋立造成が終わったらできるだけ早いタイミングで実施していただくよう話を進めている。施設整備の完了を待たなくても国道378号の改築が終わった時点で使用できることなると思っている。

Q13. 大きなプロジェクトなので時間がかかるのはよく分かるが、出来上がった時、知名度とかに問題があると思う。すぐには注目されないと思うが、例えば、ここのキャンプ施設は現状の緑地を利用しているというようなことを、先行してプロジェクトを決めるという考えはあるか。

A13. 施設が出来るまでのPR活動であるかと思うが、使える部分はできるだけそういったPRをしていきたいと思う。また、若い方々がいろいろビジョンを描いていただく中で、例えば、喫茶でも道の駅で試しにやってみようかというような意見が出たら、実施可能な部分については、それを形にしてアピールすることができるかと思う。もう少し先のことなのでどういった方向で検討し、どういったPRをしていくかというのは少し時間をいただき、検討したい。

Q14. 人口減少と高齢化が進む中、事業完了まで16年を要することを踏まえ、観光客だけでなく地元の高齢者や数少ない若者が快適に過ごせる生活拠点としての整備を強く求める。

現在、長浜には豊かな海産物や農産物、伝統菓子（しぐれ・残月等）といった優れた資源があるものの、提供場所が分散しているために住民の食事機会が市外へ流出しているのが現状である。そのため、新設される道の駅には、これら地元の逸品を一堂に集め、長浜独自の食材を堪能できるレストランを核とした、地域内外から選ばれる「オンリーワン」の施設運営を期待している。

A14. 埋め立てが終わった後の施設整備に関しては、今後の長浜地域をどうしていくかというグランドビジョンを検討する必要がある。その中には地元の方である漁業関係、農林関係、柑橘関係の若い方も入っていただいて、一緒に仕組みづくりを考えていくことになり、おそらくその中で今言っていた内容も出てくると思う。